

はししょうふう 破傷風ワクチンを接種したか、確認をお願いします!!

最近、幼少期の定期接種のワクチンで、大多数の人がはししょうふう破傷風ワクチンを含んだ DPT ワクチン接種率が高くなったので、『はししょうふう破傷風』を発症する人が少なくなってきました。

しかし現在においても、日本で年間約 100 人が『はししょうふう破傷風』を発症し、このうち 5~9 人は、それが原因で亡くなっています。

なんらかの事情で、幼少期の定期接種ワクチンの漏れがある人は、いま一度、母子手帳を見つけ出し確認してください。破傷風ワクチンは、追加接種(2 種混合ワクチン)を含めると 5 回になります。12 歳までに完了しているはずです。

1968(昭和 43)年より前に生まれた人は、定期接種ワクチンにはししょうふう破傷風ワクチンが入ってなかったため、それに対する免疫力はありません(自然獲得はありません)。

破傷風ワクチンは 10 年ほど経つと効果が低下するようです。医師によっては、自費での追加接種を勧める方もいます。

本校は園芸学科の農業系高等学校です。授業で土を扱います。

ワクチン接種歴が不確かな人は、かかりつけ医に相談してみてください。



【破傷風とは】

◎原因は小さな傷がほとんどです

庭いじりをしている時にケガをした、野球をしていてスパイクで蹴られた、古クギを踏んだ等、小さな傷が破傷風を引き起こします。出血しないタイプのケガで発症することもあるようです。破傷風菌は全世界に存在します。もちろん日本の土の中にも普通にいます。動物の糞の中にもいます。ヒト-ヒト感染はありません。

◎しっかり洗って傷はふさがないようにしましょう

破傷風菌は空気がキライです。小さな砂粒など残したまま傷をふさいでしまうと、破傷風菌は活動し始めます。しっかり洗って異物を残さないことと、傷を開いたままにして空気にさらしておくことが大切です。アルコール等の消毒剤にも抵抗を示します(効かないということです)。

◎発症した場合の症状と治療について

ケガをしてから 1 週間くらいで

- (1) 口があかない
- (2) 首がつっぱる
- (3) 物が飲み込みにくい

といった症状があらわれます。そのような症状が 1 つでも出たら、急いで医師の診察を受けましょう。

毒素を中和する治療を行います、重症の場合、

Ⓐ背中が弓なりになり、Ⓑ全身けいれんが起こって

Ⓒ息もできなくなります。

人工呼吸器による集中治療を行います、いったん発症すると死亡率 20~50%と高い病気です。

◎予防接種が大事です

破傷風は予防可能な病気です。12 歳までに接種完了した 3 種混合ワクチンに含まれています。効果は 5~10 年といわれています。他の薬剤等でアナフィラキシーを起こしたことがある人は、かかりつけ医にご相談ください。

